

1. 3R活動 ～OLYMPUSの3Rへの取り組み～

↑ Reduce

- ブナの植林（製造拠点青森）



- 従業員に配布した紙ストロー



↑ Reuse

- 書籍や事務用品の再利用（新潟支店）



↑ Recycle

- 資源リサイクルの成果※詳細は下記リンク
<https://www.olympus.co.jp/csr/?page=csr>

排出物量・埋立量



	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期
排出物量 (t)	6,584	6,995	6,793	6,993	5,647★
リサイクル量 (t)	5,475	5,681	5,439	5,390	4,654★
その他の廃棄物量 (t)	1,109	1,314	1,354	1,603	993★
埋立量 (t)	129	150	100	107	63★
連結売上高原単位 (t/億円)	0.88	0.89	0.86	0.88	0.75

2. サステナビリティ



CDP「サプライヤー・エンゲージメント評価」で最高評価の

『サプライヤー・エンゲージメント・リーダー』に選定

2022年2月25日

オリンパス株式会社（取締役 代表執行役 社長兼CEO:竹内 康雄）は国際的な非営利団体CDP※1より、「サプライヤー・エンゲージメント評価（SER）」において最高評価である「CDP2021サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定されました。

サプライヤー・エンゲージメント評価とは、企業が気候変動課題に対してどのように効果的にサプライヤーと協働して取り組んでいるかを評価するものであり、最高評価を獲得した企業がサプライヤー・エンゲージメント・リーダーとして表彰されます。

2021年度は回答企業の上位8%にあたる世界の約500社(うち日本企業105社)がサプライヤー・エンゲージメント・リーダーに選定されました。

当社は取り組むべき重要課題として「社会と協調した脱炭素（カーボンニュートラル）・循環型社会実現への貢献」を特定し、2030年までに自社事業所からの温室効果ガス排出量（Scope1,2※2）を実質ゼロにするカーボンニュートラル目標を定めて、製造改善活動や省エネ施策、再生可能エネルギーの導入などの取り組みを進めています。

また、原材料調達・物流・製品使用などの段階で発生する温室効果ガスの排出量（Scope3※2）をカテゴリごとに把握・算定するとともに、グリーン調達の推進や物流効率改善、環境配慮型製品の開発などサプライチェーン全体の温室効果ガス削減の取り組みを進めています。今回の選定は、これらの継続的な取り組みが評価された結果であると考えております。

